

絵のある 病院

院内の絵画をご自由にご覧ください

※ 34 35 36 は職員専用通路にあるため
ご覧いただけません



島村 翠月



「アメイジンググレイス」
島村 翠月



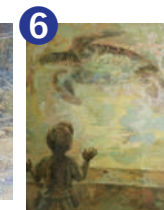
島村 翠月



「憩いの渚」
島村 翠月



新第2回日展 特選作品
「潮だまり」
玉置 里美



「大きいカメ！」「海風2016-1」
玉置 里美



立花 博



「古代の記憶」
玉置 里美



「望郷
(ある漂流記より)」
立花 博



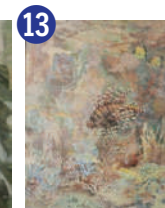
「漂流記
(航海灯など)」
立花 博



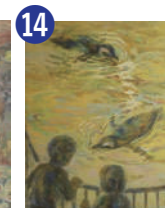
「何処へ」
玉置 里美



「晩夏」
玉置 里美



「ミノカサゴ」
玉置 里美



「ペンギン」
玉置 里美



「五月雨」
玉置 里美



「実芭蕉」
玉置 里美

岡山博愛会病院

玉置里美先生

インタビュー



「道標 (みちしるべ)」
玉置 里美



「砂丘に咲く」
玉置 里美



「航海記 (ペナント4)-1」
立花 博



岡本 肇



「積木の塔」
立花 博



「秋曲」
立花 博



「春暝」
立花 博



「朱い布」
立花 博



「航海記 (ペナント7)」
立花 博



「漂流記 (望遠鏡など)」
立花 博



「南風」
立花 博



「涛声」
立花 博



「漂流記 (ガラスの鯨のいる)」
立花 博



「航海記'95-1」
立花 博



「南洋紀行'07-1」
立花 博



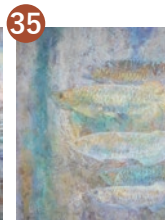
「秋収」
立花 博



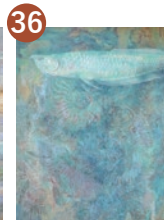
「航海記'95-3」
立花 博



「悠」
玉置 里美



「古代の記憶」
玉置 里美



「太古の記憶」
玉置 里美



「航海記 (ペナント4)-2」
立花 博



「海の華」
玉置 里美



賀川 豊彦



「実る」
玉置 里美



「径(みち)」
玉置 里美



「紫陽花の頃」
玉置 里美



「溪流」
玉置 里美



森谷 秀男



「波の音」
玉置 里美



「南洋紀行」
立花 博



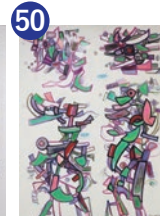
「或る航海記」
立花 博



「燈」
立花 博



永瀬 正己



永瀬 正己

Q. 日本画の魅力とは何でしょうか？

A. 日本画の魅力は何と言っても絵の具の美しさです。
天然の岩絵具は岩石を砕いて細かい粒にしたものですので、
言わば地球のかけらです。
それを糊である膠(にかわ)と混ぜて画面上に重ねて制作します。
膠は岩絵具の表面をあまりおおうことなく接着するため、
光が散乱しやすい表面が作られ、落ち着いた色調に癒されます。

Q. 作品の岩絵具の凸凹が大きいのはなぜでしょうか？

A. 岩絵具は荒い粒子のものから細かい粒子のものまで一つの色が
何段階にも分かれています。
私は制作の最初に荒いものから細かいものまで混ぜて下地を
作るので、その際に凹凸ができます。

Q. 海に関する作品が印象的ですが、モチーフを選ぶ理由などありますか？

A. 私は玉野市で生まれ育ちましたので子どもの頃から海は身近
でした。また、父の趣味が釣りでしたので一緒に出かけては
磯で遊んでおりました。海藻や貝殻を採集して名前を調べたり、
潮だまりに残された小さな生き物たちを見つけたり、とても
幸せな時間と沢山の恵みを海からいただいたと思っています。
そういった自分の中に蓄積された体験や五感で感じたことを
作品にしています。